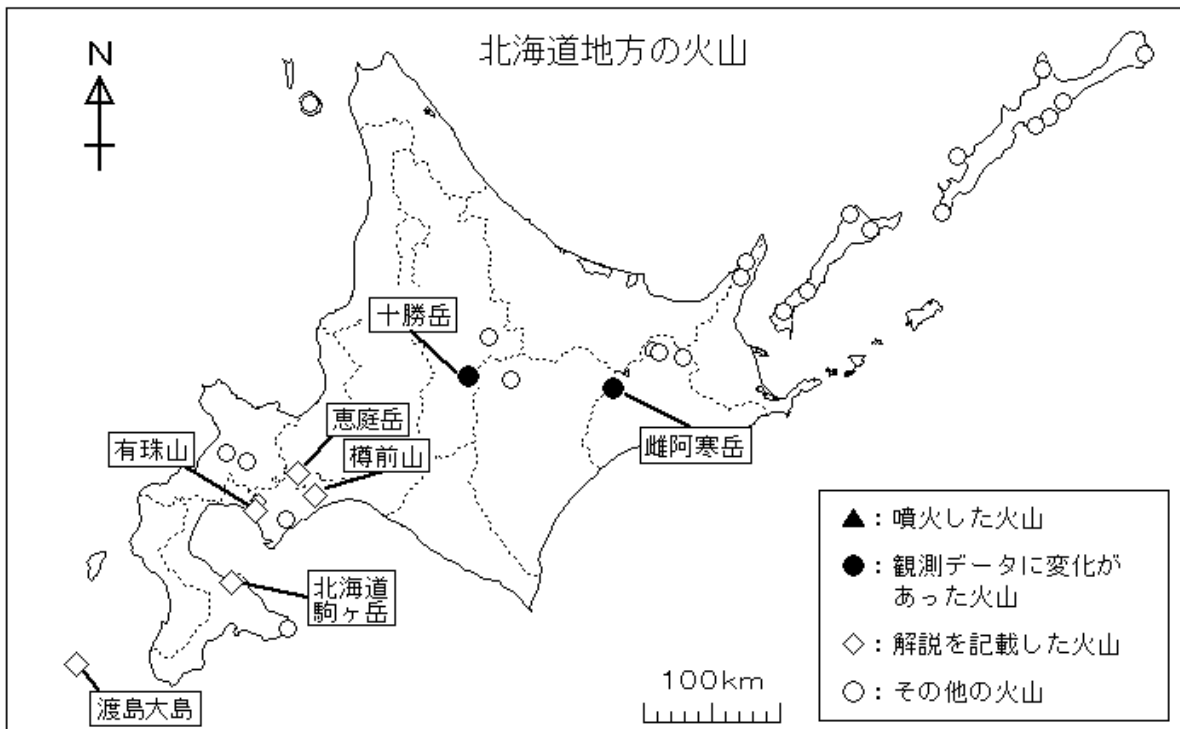


北海道地方の火山活動解説資料(平成 15 年 4 月)

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳

中旬から下旬にかけ、ポンマチネシリ火口直下の浅いところが震源と推定される微小な地震が増加しました。この地震活動に伴い噴煙などの表面現象に変化はありませんでした。

十勝岳

27日に継続時間約20分の小さな火山性微動が観測されました(微動の観測は今年2月25日以来)。62-2火口では活発な噴煙活動が続いていますが、この微動の前後で表面現象に変化はありませんでした。

樽前山

顕著な地震の増加はありませんでした。1996年以降地震活動が活発化しており、A火口をはじめドーム周辺では熱的活動が活発な状態となっています。

恵庭岳

山頂火口では弱い噴気活動が続いています。

有珠山

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳

地震活動、噴煙活動は静穏に経過しました。長期的に見ると地殻変動にはわずかな伸びの傾向が認められます。

渡島大島

上空からの観測では噴気はなく、地熱域にも異常は認められませんでした。

次の火山活動解説資料(平成15年5月分)は6月6日に公表します。

(札幌管区気象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>)

(気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>)